

## 議案第 63 号

### 災害対応特殊屈折はしご付消防ポンプ自動車の取得について

下記のとおり災害対応特殊屈折はしご付消防ポンプ自動車を取得するにつき、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 96 条第 1 項第 8 号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（昭和 39 年三田市条例第 12 号）第 3 条の規定により、議会の議決を求める。

平成 30 年 6 月 7 日提出

三田市長 森 哲 男

#### 記

#### 1 取得数量

1 台

#### 2 取得の目的

災害の複雑・多様化に伴い、更なる消防力の充実強化及び被害の軽減等を図り、市民の安心・安全を守る。

#### 3 取得金額

218,052,000 円

#### 4 取得の相手方

兵庫県三田市テクノパーク 2 番地 3

株式会社モリタ 関西支店

支店長 合 田 努

## 災害対応特殊屈折はしご付消防ポンプ自動車の概要

## 1 概 要

災害対応特殊屈折はしご付消防ポンプ自動車は、バスケット、リフタ（エレベーターのようなもの）同時使用可能な3.5m級はしご付自動車であり、最上連のてい体の先端約3mが屈折し、斜め下方向へも伸ている機能を有するほか、はしごの伸縮に水路が連動する伸縮水路管を装備している。これらの機能を使用することにより、電線等の架梯障害及び河川等の転落事故等にも対応することができ、市民の安心・安全を守るものである。

## 2 災害対応特殊屈折はしご付消防ポンプ自動車の構造

区分	災害対応特殊屈折はしご付消防ポンプ自動車	現行はしご付消防ポンプ自動車	比較
車体全長 (mm)	11,450	11,610	-160
車体全幅 (mm)	2,500	2,500	0
車体全高 (mm)	3,600	3,660	-60
室内長 (mm)	2,500	2,500	0
室内幅 (mm)	2,200	2,200	0
室内高 (mm)	1,500	1,500	0
総重量 (kg)	21,000	21,320	-320

※数値については、カタログ上のものであり、実車の数値とは異なる場合がある。

## 3 艀装・積載品等

オールシャッター、照明装置、電動放水銃（2,000リットル/分）、その他

## (1) 先端屈折式はしご

はしご屈折部の長さは約2.5m、屈折角は80°先端を屈折できることで、障害物を回避して架梯することが可能となり、要救助者を安全確実に救出することができる。

## (2) バスケット、リフタ同時使用可能

バスケット、リフタ同時使用が可能で、一旦架梯した場所から離れることな

く、リフタを使用し連続して要救助者を救出することができ、活動時間の短縮ができる。

(3) オールシャッター仕様

オールシャッター仕様とすることで資機材積載量が格段に向上する。

(4) 4輪操舵機能

4輪操舵により、最小回転半径を7.2m（通常時は8m）とすることで、進入困難であった対象物へ容易にアプローチが可能となる。

(5) 電動モニタ放水銃

はしごの伸縮に合わせて伸縮する水路管付きで最大2,000リットル／分の放水が可能となる。また、電動モニタ放水銃を搭載しており、バスケットに搭乗することなく放水ができる。